



ロボコン2015近畿地区大会に出場して

Aチームリーダー 機械工学科5年 山西 僚介

Bチームリーダー 電子制御工学科3年 濱口 翔大

私たちはAチーム「大和」、Bチーム「射抜け!わぶさめくん」の2台のロボットで大会に出場しました。

本年度のルールは、フィールドに配置された9本のポールに、ホースで作製した輪を投げるという内容でした。5月から約半年間試行錯誤を繰り返す中、チーム内で意見がまとまらず、製作した機構が想定通りに動かず、辛く苦しい日々が続いた時期もありました。しかし、Aチームは優勝する、Bチームはロボコン大賞を取るという強い思いを持ち、諦めずに取り組み続けた結果、自信を持てるロボットをつくり上げることが出来ました。

近畿地区大会では両チームともに健闘し、Aチームは準優勝、Bチームはアイデア賞を受賞しました。優勝には一歩及びみせんでしたが、Aチームは推薦チームとして全国大会出場が決まり、またBチームも会場を沸かせることができ、嬉しく思います。

全国大会では、悲願の奈良高専初の優勝を勝ち取れるように、メンバーともども精進していきます。また後日、Bチームは全国大



会のエキシビジョンに特別招待されました。会場の皆さんを沸かすことが出来るよう、素晴らしいロボットを作り上げて行きたいと思っています。

最後に、この場をお借りしまして、私達を支えてくださった先生方、事務職員の方々、そして最後まで応援して下さった皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。



プログラミング・コンテスト —— 来年度に向けて

電子情報工学専攻1年 原 一彰

10月11日(日)・12日(月・祝)に長野県で第26回プログラミングコンテストの本戦が開催されました。私と森田悟大くん(情報工学科2年)、萬代裕輔くん(電子制御工学科2年)の3人は競技部門に参加しました。しかし、残念ながら入賞することはできませんでした。

競技部門は毎年度異なる問題が事前に出题され、各チームが工夫を凝らして書いたプログラムを持ち寄って解法のよさを競い合います。今年度の問題は与えられた“敷地”にテトリスのブロックのような“石”をできるだけ多く敷き詰めるもので、“枝刈り”(よい解が得られない組合せを排除する操作)の精度が焦点でした。

私たちのチームでは各自がそれぞれに解法を考えて本戦に挑みましたが、競技プログラミングに対する経験不足から、よい結果を得られませんでした。ですが、今年度の経験を活かして来年度も奈良



高専チームに貢献し、後輩たちのさらなる活躍を期待したいと思います。今後とも応援をよろしく願っています。



高専祭を開催しました

第49回高専祭実行委員長

物質化学工学科4年 谷口 聡生

この度11月7日(土)・8日(日)に第49回高専祭を開催させていただきました。

今年の高専祭は「熱血!エンジニア魂!」のテーマのもと、高専祭に参加された全ての方々に本校の誇りや技術を、自信を持って提供させていただきました。その結果、来場者数は約2,000人と、私が把握している中では過去最高の集客数となり、大変嬉しく思っております。



今年の高専祭は活気のある高専祭を目指し、ステージの規模拡大、広報活動の強化、校内の装飾強化、中学生への学校紹介などを新しく行い、より多くのお客様に楽し



でいただく事ができました。

特に、ステージでは照明等を新しく導入し演出を増やしました。また、広報活動では周辺地域含め、様々な中学校へポスターを送るなどして幅を広げました。

ご来場者へのアンケートには多数の喜びの声が挙がりました。来年は50回目の高専祭となります。今年よりもさらに活気ある高専祭を期待してください。

